

1 基本情報

事業名称	中区豊かなこころづくり応援事業				
事業目的	乳児と保護者に絵本を配布したうえで、絵本の読み聞かせを体験してもらい、その重要性を認識してもらう。また、親と子の心のふれあいの契機とすることで、今後も絵本に興味・関心をもってもらうことを目的とする。				
事業概要	4か月児健診時に、絵本 1 冊と子育ての参考となる資料をセットにしたブックスタートパックを配布する。ボランティアによる読み聞かせ体験に対する乳児の反応から、保護者に「読み聞かせ方法」を学んでもらう。また、保護者が乳児のために絵本を選ぶ参考となるよう、図書館員が推薦する絵本の展示コーナーを設ける。				
実施主体	中区役所自治推進課	実施場所	中区役所内	実施時期	令和7年4月から令和8年3月まで

2 設定指標

活動指標	絵本の配付率（絵本配付数／対象者数）		R4	R5	R6	R7
		目標	100%	100%	100%	100%
		実績	100%	100%	92.7%	95.7%
成果指標	堺市は子育てしやすい都市だと思いますか。 （市民意識調査において「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した中区民の割合）		R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	-	63.0%
		実績	43.9%	58.4%	50.8%	52.4%

3 事業評価

決算額		500,650		円															
①妥当性		○		②費用対効果		○		⑤総合評価		○		評価基準							
本事業は絵本の読み聞かせを通じて、親子のふれあいを深め、子育てへの不安軽減や相談しやすい環境の整備を目的とするものである。子育て世帯の孤立や育児不安が課題となる中、本事業は同世代の保護者同士や地域のボランティアとのつながりを育む機会となっている。また行政と地域ボランティアの協働により、きめ細かな支援や顔の見える関係性が構築され、地域全体で子育ての基盤を支える基盤形成に寄与している。さらに、乳児期から本に親しむ機会の提供は、こどもの言葉や心の発達の観点からも重要であるため、事業を実施する妥当性が高い。				本事業は、4か月児健診と同時に実施することで、対象者を確実に把握し、来庁負担を軽減している。また、費用は絵本等の物品費と読み聞かせボランティアへの謝礼（図書カード）に限定している。最小限の費用で全対象区民をカバーしており、費用対効果が高い。				本事業は、保護者への読み聞かせの重要性の啓発とこどもへの絵本に対する興味・関心の喚起を目的として実施されている。すべての家庭に寄り添った子育て支援として地域に根ざし、市民との協働で地域内での支援の広がりが感じられる取組となっている。 また、子育てがしやすい中区としての P R 効果も期待できる。 以上のことから、本事業は区民利益につながる有効な事業である。				◎：非常に高い水準で達成 ○：十分な水準で達成 △：達成度が限定的 ×：達成されていない －：評価対象外							
③庁内・公民等連携				◎				④区の計画への寄与度								○			
絵本の配布は行政、読み聞かせ体験は市民ボランティアと、役割分担しながら相互に連携して事業を実施しており、連携の度合いが非常に高い。				絵本の読み聞かせを通じて、親子のふれあいを深め、子育ての不安を和らげ、相談しやすい環境をつくる本事業は、計画における「子育て世代を地域全体で支援する環境整備」や「子どもの健やかな学び・育ちの確保」の取組に寄与している。															

4 課題と対応方針及び今後の方向性

課題	絵本の配布率は昨年度と比較して増加しているが、依然として一定数の方(4.3%)に支援を行うことができていないのが現状である。そのため、事業内容の周知を強化し、対象者の事業認知度の向上を図る必要がある。	今後の方向性	継続
対応方針	対象者に対する積極的な周知・啓発を行い、事業内容の広報を強化し、参加促進を図る。		